

専門基礎分野

【目的】

1. 日常生活行動を、からだはどのようなしくみで行っているのか、また構造や機能が障害された時、どのような変化があるのかを学び、看護ケアにつながるよう理解する。
2. 保健医療福祉に関わる基礎的知識を学び、看護の理解に役立てる。

【目標】

1. 人体の正常な構造と機能を学び、看護ケアに必要な日常生活行動のしくみと意味を理解する。
2. 人体の構造や機能が障害された時の人体の変化と、回復過程を理解し、日常生活行動への影響を考えることができる。
3. 保健医療福祉に関する基本概念、関係制度、関係する職種の役割を学び、連携・協働の必要性について理解できる。
4. 人々が生涯を通じて、健康や障害の状態に応じて社会資源の活用を支援できるよう、基礎的知識を養う。

【構成および計画】

	科目(授業科目)	単位数	時間数	学年別計画時間		
				1年	2年	3年
人体の構造と機能	解剖生理学 I	1	30	○		
	解剖生理学 II	1	30	○		
	解剖生理学 III	1	30		○	
	解剖生理学 IV	1	30		○	
	生化学	1	30	○		
	計	5	150			
疾病の成り立ちと回復の促進	栄養学	1	15		○	
	感染症と微生物	1	30		○	
	病理学	1	30	○		
	リハビリテーション	1	15		○	
	ME	1	15		○	
	臨床検査	1	15		○	
	放射線医学	1	15		○	
	病態学 I	1	30		○	
	病態学 II	1	30		○	
	病態学 III	1	30		○	
	病態学 IV	1	30		○	
	病態学 V	1	30		○	
	薬理学	1	30	○		
計	13	315				
健康支援と社会保障制度	医療と法律	1	15	○		
	社会保障	1	15		○	
	社会福祉	1	15		○	
	関係法規	1	15		○	
	公衆衛生学	1	30		○	
	地域の健康と社会生活	1	30		○	
		6	120			
合計	24	585				